

大都市近郊での街と里のつながりを考える

フォーラムinすいた

～経済性を伴った持続的な連携・交流で里山の価値を高めるために～

参加費
無料

申込不要

定員
400名



2018年8月26日(日)14:00～17:00

(開場:13時～ 13時からポスター展示等を行います。)

会場：関西大学ソシオAV大ホール

基調講演

「持続可能な地域づくりに必要なこと」(地域での循環と共生の取組みを事例として)
濫澤 寿一氏(特定非営利活動法人共存の森ネットワーク理事長)

話題提供

「みなとモデル二酸化炭素固定認定制度による木材の利用促進事例」
目時 有也氏(東京都港区環境リサイクル支援部環境課地球温暖化対策担当主任)
「能勢ハンパないって! -里山再生案 by 良永ゼミ」
関西大学 良永ゼミ

パネルディスカッション

<進行> 佐久間 大輔氏(大阪市立自然史博物館学芸課長代理)
<パネリスト> 後藤 圭二氏(吹田市長)
上森 一成氏(能勢町長)
濫澤 寿一氏(特定非営利活動法人共存の森ネットワーク理事長)
<オブザーバー> 鳥居 敏男氏(環境省大臣官房審議官)
田中 猛氏(大阪府環境農林水産部みどり推進室みどり企画課参事)



街と里の交流

能勢

吹田

開催主旨

吹田市と能勢町は、平成17年8月にフレンドシップ交流のための調印を行っています。

このつながりをベースに、現在、両市町間で様々な連携活動を実施しています。

この連携活動では、経済性を伴った交流をめざしています。そのためには、街側の吹田市民が里側である能勢町の豊かな自然資源を活用した持続的な連携活動に欠かせない、経済性を伴った交流のあり方について考えていく必要があります。

そこで、街側ではどのような行動が必要なのか、また里側では街側にどのようなアプローチをすべきなのかなど、今後の連携・交流の方向性について考えるフォーラムを開催します。

2018年8月26日(日)14:00～17:00 (開場:13時)

会場：関西大学ソシオAV大ホール (定員400名)

プログラム

① 基調講演

「持続可能な地域づくりに必要なこと」(地域での循環と共生の取組みを事例として)
澁澤 寿一 氏 (特定非営利活動法人共存の森ネットワーク理事長)



基調講演者 澁澤 寿一 氏
特定非営利活動法人
共存の森ネットワーク理事長

② 話題提供

「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度による木材の利用促進事例」
目時 有也 氏 (東京都港区環境リサイクル支援部環境課地球温暖化対策担当主任)
「能勢ハンパないって！ -里山再生案 by 良永ゼミ」
関西大学 良永ゼミ

③ パネルディスカッション

<進行>

佐久間 大輔 氏 (大阪市立自然史博物館学芸課長代理)

<パネリスト>

後藤 圭二 氏 (吹田市長)

上森 一成 氏 (能勢町長)

澁澤 寿一 氏 (特定非営利活動法人共存の森ネットワーク理事長)

<オブザーバー>

鳥居 敏男 氏 (環境省大臣官房審議官)

田中 猛 氏 (大阪府環境農林水産部みどり推進室みどり企画課参事)



パネリスト 後藤 圭二 氏
吹田市長



パネリスト 上森 一成 氏
能勢町長

会場アクセス



【電車利用の場合】
阪急電鉄「梅田」駅から、
北千里線「関大前」駅下
車(約20分)
関西大学西門新アクセス
通路徒歩(約3分)

阪急千里線「関大前」駅北口を出て、
関西大学西門から新アクセス通路を
通って、約3分ほど

お問合せ先

TEL 06-6384-1782 (直通)

〒564-8550 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号

吹田市環境部環境政策室 フォーラム担当

Email env-seisaku@city.suita.osaka.jp

※ 障がい等がある方で、参加にあたり配慮を希望する方は、
事前にご連絡ください。



共催：吹田市、能勢町、大阪府、大阪生物多様性保全ネットワーク
後援：関西大学

※大阪生物多様性保全ネットワークは、大阪府、大阪市、堺市等の地方公共団体や府内の大学、博物館・研究機関、さらには自然環境の保全や森づくり関係の団体などで構成し、府内の生物多様性の保全に関する取り組みを協働して進める任意団体です。
※このフォーラムは、環境省の地域循環共生圏構築検討業務の助成金を活用して実施しています。

